

第 83 回
関東小児腎臓研究会
プログラム・抄録集

2017 年 2 月 11 日 (土)

東京女子医科大学 臨床講堂 1

日本医科大学武蔵小杉病院 小児科

柳原 剛

御挨拶

会員の先生方におかれましては、益々御活躍のことと拝察いたします。
第83回関東小児腎臓研究会を開催させていただくにあたり、御挨拶申し上げます。

本研究会は、臨床医と病理医が老若男女を問わずディスカッションを行い、疾患に対する理解を深めるとともに広く交流を深められる研究会です。その趣旨に御賛同頂き、今回は13演題という非常に多くの御登録をいただきました。誠に有り難う御座いました。また、限られた時間の中で本会の趣旨を堅持しつつ運営するにあたり、御発表の先生方をはじめ病理の先生方にも無理難題をお願い致しました。御理解御協力を賜り、心より御礼申し上げます。おかげさまで、例年になく素晴らしい会が開催されることと確信しております。

さて今回は、特別講演に日本医科大学付属病院病理診断科准教授 大橋隆治先生をお招きいたしました。「小児ネフローゼ症候群の病理」というタイトルで御講演いただきます。大橋先生は、アメリカ留学中、御自身の研究はもちろん、病理医として実際に臨床の現場で活躍された経験をお持ちで、そのあたりのことも交えながら御講演いただけるようお願いしております。大変刺激的なお話しを伺えるものと思います。

また研究会の終了後には、ささやかではありますが懇親会をご用意しました。議論し尽くせなかったことを突き詰めるもよし、他施設の先生に人生相談するのもよし、何でもあります。是非御参加下さい。

最後になりましたが、本会の開催にあたり、歴代会長の先生方には諸々御教授頂き、また東京女子医大秘書加藤由佳様には大変お世話になりました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

第83回関東小児腎臓研究会
会長 柳原 剛
(日本医科大学武蔵小杉病院小児科)

会場案内

会 場： 東京女子医科大学 臨床講堂
〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1
TEL: 03-3353-8111(代表)

<会場アクセス>



<会場案内図>



プログラム

開会の挨拶 12:45～12:50

第 83 回会長 柳原 剛(日本医科大学武蔵小杉病院小児科)

Session A 12:50～13:40 座長: 徐 東博(日本医科大学武蔵小杉病院小児科)

25 分演題 病理: 長濱清隆(日本医科大学解析人体病理学)

演題1 「診断・治療に苦慮しているネフローゼ症候群で発症した MPGN 様腎炎の一例」
町田 碧 横浜市立大学附属市民総合医療センター 小児総合医療センター

演題2 「C3 優位の補体持続低値を伴う C3 腎症の経過中に SLE を発症した 15 歳女児の 1 例」
大森教雄 東京都立小児総合医療センター 腎臓内科

Session B 13:45～14:35 座長: 神田祥一郎(東京大学小児科)

25 分演題 病理: 藤井晶子(獨協医科大学越谷病院病理診断科)

演題3 「約 1 か月間の透析を要した半月体形成を伴う管内増殖性腎炎の 1 例」
金子直人 東京女子医科大学 腎臓小児科

演題4 「30 %以上の糸球体に半月体を認めた非 IgA 型メサンギウム増殖性腎炎の女児例」
小林杏奈 山梨大学小児科

コーヒーブレイク 14:35～14:50

Session C 14:50～15:35 座長: 岡本正二郎(東海大学八王子病院小児科)

15 分演題 病理: 松岡健太郎(北里研究所病院病理診断科)

演題5 「高度蛋白尿、多血症が持続し腎生検を施行した腎腫大を認める 5 歳の CKD 男児」
齊藤真人 埼玉県立小児医療センター 腎臓科

演題6 「乳児期より血尿・蛋白尿を来し、診断に苦慮した Pierson 症候群の 1 例」
三輪沙織 東京慈恵会医科大学 小児科学講座

演題7 「2 か月以上無尿が続いている既知の遺伝子変異がないステロイド抵抗性ネフローゼ症候群の 9 か月男児」
松本真輔 松戸市立病院 小児医療センター 小児科

Session D 15:45~16:30 座長: 小椋雅夫(国立成育医療研究センター)
15分演題 病理: 種田積子(東京女子医科大学第二病理学講座)

演題8 「経過中に一過性低補体血症を伴った ANCA 関連血管炎の1例」
増田俊樹 滋賀医科大学 小児科

演題9 「尿所見の改善に乏しい非 IgA メサンギウム増殖性糸球体腎炎合併の菲薄基底膜症候群 5歳女児」
別井広幸 自治医科大学小児科

演題10 「診断に時間を要し治療選択に苦慮している C1q 腎症の1例」
久保田舞 東邦大学医学部 小児腎臓学講座

コーヒーブレイク 16:30~16:45

Session E 16:45~17:30 座長: 石塚喜世伸(東京女子医科大学腎臓小児科)
15分演題 病理: 上杉憲子(筑波大学医学医療系生命医科学域)

演題11 「著明なメサンギウム増殖を伴った膜性腎症の1例」
鎌 裕一 群馬県立小児医療センター 腎臓内科

演題12 「NS-AKI で発症し、腎生検で間質の変化を認めた IgAN の女児例」
鈴木 繁 聖隷佐倉市民病院 小児科

演題13 「細動脈の壊死性動脈炎を伴った紫斑病性腎炎の13歳女児例」
楊井瑛美 日本医科大学 小児科

特別講演 17:40~18:30 座長: 柳原 剛(日本医科大学武蔵小杉病院小児科)

「小児ネフローゼ症候群の病理」
日本医科大学付属病院病理診断科准教授 大橋隆治

次期会長挨拶 18:30~

閉会の挨拶 18:35~

懇親会 19:00~ 阿厨 AGURI

関東小児腎臓研究会役員リスト

名誉顧問

赤司 俊二 藪田 敬次郎	伊藤 克巳	酒井 糾	長谷川 理	村上 睦美
-----------------	-------	------	-------	-------

顧問(病理)

秋草文四郎 長田 道夫	上田 善彦 本田 一穂	北村 博司 松岡健太郎	清水 章 山口 裕	城 謙輔
----------------	----------------	----------------	--------------	------

顧問

飯島 一誠 香坂 隆夫	五十嵐 隆 高橋 昌里	生駒 雅昭 土屋 正己	市川 家國 本田 雅敬	河西 紀昭 楊 国昌
----------------	----------------	----------------	----------------	---------------

運営委員

秋岡 祐子 伊藤 秀一 倉山 亮太 中村 信也 張田 豊 松山 健 渡邊 常樹	浅野 貴子 大友 義之 齊藤 陽 新村 文男 久野 正貴 ※三浦健一郎 渡部登志雄	阿部 祥英 大和田葉子 沢登 恵美 幡谷 浩史 平野 大志 本山 治	栗津 緑 金井 孝裕 高橋 英彦 ☆服部元史 平本 龍吾 森本 哲司	石倉 健司 金本 勝義 田中絵里子 濱崎 祐子 藤永周一郎 柳原 剛
---	---	---	---	---

アイウエオ順 ☆は委員長 ※は監事